

第2回定期検査終了 安心をお届けできるよう安定・安全運転に努めてまいります

東通原子力発電所1号機は、平成20年3月22日より第2回定期検査を実施してまいりました。安全最優先に作業を進め、平成20年8月13日に経済産業省による最終検査に合格し、定期検査を終了いたしました。主な検査実施内容についてご紹介いたします。

1. 定期検査の期間

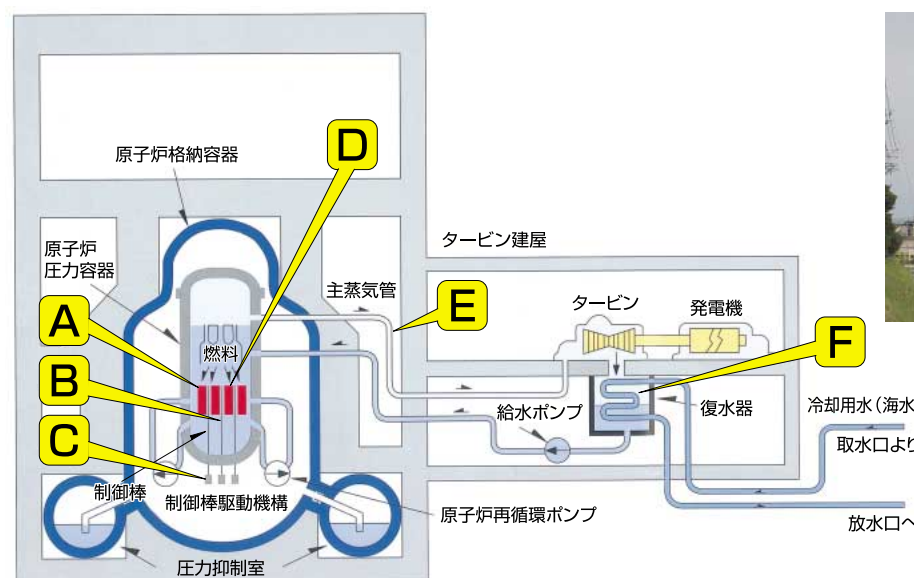
平成20年3月22日(土)～平成20年8月13日(水) 145日間
(発電停止期間:平成20年3月22日～平成20年7月18日 119日間)

2. 主要な点検ならびに作業の結果

- A 燃料集合体の取替え**
燃料集合体764体中、128体を新燃料に取替えました。
- B 制御棒に関する点検**
ハフニウム板型制御棒全29本について、ボロンカーバイト粉末型制御棒へ取替えを実施し、取外したハフニウム板型制御棒については外観点検を行い、異常のないことを確認しました。
- C 制御棒駆動機構の点検**
制御棒を動かす装置185体のうち26体を取外し、そのうち14体について分解点検を実施し、健全性を確認しました。また、残りの12体については予備品と取替えを実施しました。
- D 出力領域モニタの取替え**
原子炉内の中性子量を測定する装置43本のうち、性能機能維持を図るため8本について取替えを実施しました。
- E 配管肉厚測定検査**
原子炉系、タービン系配管の約1,700箇所について肉厚測定を行い、健全性を確認しました。
- F 復水器細管の点検**
蒸気を海水で冷やすために用いる細管について点検し、健全性を確認しました。

3. 耐震裕度向上工事

第2回定期検査において、発電所の更なる耐震安全性の向上に努めていくため、安全上重要な配管・電路類の支持構造物など、約1,900箇所について自主的に耐震裕度向上工事を実施しました。



詳細につきましては、当社ホームページでご覧いただけます。アドレスは
<http://www.tohoku-epco.co.jp/genshi/index.html>

よろしくお願いします!

このたびの人事異動により、新副所長として古川榮一、片桐一夫の2名が着任いたしましたのでご紹介いたします。



古川榮一 青森県出身

建設も手掛けた発電所であり、6年ぶりの勤務となります。安全最優先に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



片桐一夫 新潟県出身

原子力発電所で働きたいという永年の夢がかない、とてもうれしく思っております。趣味の船釣りを満喫したいです。

地域の皆さまから親しまれ愛される発電所を目指し取り組んでまいります。